

平成 30 年度四国支部技術研究発表会の開催について

平成 30 年度四国支部技術研究発表会を下記により開催いたします。研究成果、技術開発、技術検討、施工技術、調査、工事に関する報告など会員が発表をいたします。一般の聴講は無料ですのでご参加をお願いいたします。

1. **開催日** 平成 30 年 5 月 19 日 [土] (9 : 00 ~ 17 : 00)

2. **場所** 徳島大学常三島キャンパス理工学部 (〒770-8506 徳島県徳島市南常三町 2-1)

3. **発表件数** (発表件数 計 198 件)

(1) 口頭発表 184 件

第Ⅰ部門 応用力学, 構造工学, 鋼構造, 耐震工学, 地震工学, 風工学など…………… 22 件

第Ⅱ部門 水理学, 水文学, 河川工学, 水資源工学, 港湾工学, 海岸工学, 海洋工学, 環境水理
など…………… 31 件

第Ⅲ部門 土質力学, 基礎工学, 岩盤工学, 土木地質, 地盤環境工学など…………… 29 件

第Ⅳ部門 土木計画, 地域都市計画, 国土計画, 交通計画, 交通工学, 鉄道工学, 景観・デザイ
ン, 土木史, 測量など…………… 33 件

第Ⅴ部門 土木材料, 舗装工学, コンクリート工学, コンクリート構造など…………… 39 件

第Ⅵ部門 建設事業計画, 設計技術, 積算・契約・労務・調達, 施工技術, 環境影響対応技術,
維持・補修・保全技術, 建設マネジメントなど…………… 7 件

第Ⅶ部門 環境計画・管理, 環境システム, 用排水システム, 廃棄物, 環境保全, 土木教育など
…………… 23 件

(2) web 発表 14 件

4. **講演概要集等の web 掲載** CD-ROM 版概要集は廃止され, web 上のみで発表原稿を閲覧およびダウンロードすることができます(口頭発表も web 発表も同じ)。申込時の受付 ID とパスワードで, 指定されたサイトよりログインしていただきます。投稿いただいた発表原稿 PDF には, 個別の論文番号を各紙面に記載します。なお, データファイル一式が必要な場合は, USB メモリを販売 (価格 2,000 円) しますので, 個別に, 四国支部事務局までお申し込みください。

5. フォーラム

(1) 日時：平成30年5月19日(土) 13:10～14:50

(2) 場所：徳島大学工学部共通講義棟(K棟)6F創成学習スタジオ

(3) テーマ：南海トラフ地震情報の活用を考える

(4) 趣旨

南海トラフの地震対策は四国における喫緊の課題のひとつです。昨年、政府は地震の発生時期等を確度高く予測することは困難としつつも、気象庁が異常を観測した場合に最短2時間で地震発生の可能性についての見解を出す「南海トラフ地震情報」を開始しました。今回のフォーラムでは、この一見矛盾する南海トラフ地震情報の内容を正しく理解し、その情報を有効に活用する方策について考えます。はじめに気象庁の方から南海トラフ地震情報について解説いただき、続いて活用方法について民間企業と専門家からお話を伺います。

(5) プログラム

13:10～13:15	趣旨説明	馬場俊孝(徳島大学 教授)
13:15～13:35	南海トラフ地震情報とは？	山内 幸治(徳島地方気象台 地震津波防災官)
13:35～13:55	南海トラフ地震に対する日亜化学工業の対応	瀬山 淳(日亜化学工業)
13:55～14:25	南海トラフ地震情報の活用ー緊急対応から復興までー	牧 紀男(京都大学 教授)
14:25～14:50	討論	司会：馬場俊孝(徳島大学 教授)

※ フォーラムは参加自由、聴講無料です。

どなたでもご参加いただけます。一般の方もご参加ください。